
V 令和3年度予算の重点投資（主な最重点施策）

「横須賀再興プラン（横須賀市実施計画 2018－2021）」に位置づけた新規・拡充事業を中心に主な事業を掲載しています。

表示方法の詳しい説明はP. 69 の【凡例】を参照してください。

1 経済・産業の再興

（総合戦略 基本目標 1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて市内経済は低迷しています。この状況を踏まえ、地域経済をしっかりと支えます。同時に、感染症の収束後を見据え、経済の回復に向けた準備のために、「活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備」、「横須賀経済のポテンシャルを生かした稼ぐ力の向上」、「横須賀経済を支える中小企業等の再興支援」、「横須賀の「おいしい食」を生かした地域経済の振興」、「観光立市の実現に向けた環境づくり」に取り組みます。

（1）活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備

①（拡）国道 357 号の整備促進 10,396 千円

【経営企画部まちづくり政策課、事業用地課】

国道 357 号の八景島・夏島間の早期開通と夏島以南の延伸区間の都市計画決定を目指し、国などの関係機関との連携を図ります。

また、国道 357 号の八景島・夏島間開通後の交通量の変化に伴い、国道 16 号追浜駅前交差点までの追浜・夏島間の交通流を改善することについて、検討を進めます。

さらに、国と共に事務局を務める、追浜駅前交通結節点整備に向けた検討会を開催し、追浜駅前広場整備を実現するために、事業計画案の早期策定および地元権利者との調整等を図ります。

（拡）○ 追浜駅交差点の課題解決に向けた事業計画検討会

○ 国道 357 号開通に備えた追浜夏島線整備の検討

（拡）○ 追浜夏島線の整備に向けた建物等調査

○ 横須賀地区道路ネットワーク検討会への参加

② 中心市街地等の再開発促進 292,491 千円 【経営企画部まちづくり政策課】

中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新のため市街地再開発の促進を図ります。

- 市街地再開発事業に関する支援（8地区）
 - ・ 追浜駅前第2街区
 - ・ 若松町1丁目地区
 - ・ 三笠ビル地区
 - ・ 若松町2丁目地区
 - ・ 横須賀中央駅前地区
 - ・ 大滝町1丁目地区
 - ・ 若松町1丁目北地区
 - ・ 久里浜第1地区

③ 拠点市街地の活性化 39,272 千円

【文化スポーツ観光部商業振興課、上下水道局給排水課】

拠点市街地（横須賀中央、追浜および久里浜地区）における、市街地再開発や建て替え事業を促進し、商業施設等の集積を図るとともに、商店街等と協力し、にぎわいの創出を図ります。

- 市街地再開発等促進特別減税対象の商業およびホテル施設への奨励金制度
 - ・ 令和3年12月開業予定「(仮称) ホテルニューポートヨコスカ」
- 市街地再開発等促進特別減税制度などのPR
- 中央エリア商店街が連携して行うイベントに対する助成
 - ・ 補助率：2／3、限度額：200万円
- 市街地再開発等促進特別減税対象施設における水道利用加入金の免除

(2) 横須賀経済のポテンシャルを生かした稼ぐ力の向上

① (拡) ポートセールスの推進 652,425 千円

【経済部企業誘致・工業振興課、みなと振興部港湾企画課、港湾整備課】

横須賀と北九州を結ぶフェリー航路の新設を機に、事業者と連携しながら地域経済の活性化を図ります。また、横須賀港への貨物船などの誘致を推進するために、関係企業などへ港の利用について働きかけます。

(新) ○ 新規フェリー航路就航記念式典の開催

(新) ○ 地域総合整備財団の資金貸付制度を活用し、フェリー事業者の設備投資を支援

○ フェリー就航に伴う交通状況の検証

○ 荷主・物流企業などを対象とする展示会へ出展し、横須賀港の利用をPR

② 企業誘致の推進 103,663 千円

【経済部企業誘致・工業振興課、上下水道局給排水課】

企業等立地促進制度を活用し、企業誘致を促進するとともに、既存企業の設備投資を支援し、市内産業の振興を図ります。

○ 企業の立地や設備投資に対する税の優遇措置および成長分野への奨励金の交付

○ 新規立地事業所などの就業者の市内転入に対する助成

○ 市内に集積する研究所や研究者間の連携を深めるため、研究者の交流機会の創出など研究活動を支援

○ 企業等立地促進制度対象施設における水道利用加入金の免除

③ 横須賀リサーチパークの産業集積の推進 49,273 千円

【経済部創業・新産業支援課】

電波・情報通信技術を中心に、近年ではICT、AIなどの最先端技術をはじめとした幅広い分野の企業・研究機関が集う横須賀リサーチパーク（YRP）の優位性を生かし、YRP研究開発推進協会などと協力しながら、さらなる産業集積を目指します。

また、スマートモビリティの開発・実証の推進および関連産業・周辺産業の集積を図るために、YRP研究開発推進協会と協力して、具体的な事業プロジェクトの創出・推進、規制緩和への支援、研究機関などとの連携を進めます。

- YRPへの誘致を図るための進出企業に対する助成
 - ・ 限度額：100 万円
- ICT人材育成事業の助成
 - ・ 補助率：1／2、限度額：500 万円
- ICTなどの活用による行政課題の解決や新たな産業の振興
 - ・ スマートモビリティ・チャレンジの推進

***スマートモビリティ**

安全性や利便性に加え、持続可能性や効率性などのスマートさ（かしこさ）を持つモビリティ（移動性）を指し、物理的な移動手段としての乗り物に加えて、移動を支援する非物理的なツールやICTなどを活用したサービスの移動および関連技術や周辺産業も広く対象に含むもの

④ (拡) 海洋関連産業などの創出・集積に向けた調査研究 4,544 千円

【経営企画部都市戦略課】

三方を海に囲まれ、海洋関連の研究機関が数多く立地する横須賀市の特性や地域資源を生かし、海洋分野の産業創出・産業集積を促進するため、情報収集や研究機関との連携を行います。

また、海洋人材の育成を目指して実施する海洋クラブの対象として、これまでの小学生だけでなく、中学生も加えることで、継続的な教育環境を整えます。

さらに、世界的な課題となっている海洋プラスチックごみ問題に対して、市民や事業者、研究機関などと連携・協力して取り組みます。

- 海洋関連などの研究機関との連携
- J A M S T E C 研究船など一般公開の開催
- 「海をいかした学習活動」リーフレットなどの作成・配布

(拡) ○ 小中学生を対象とした海洋教育（海洋クラブ）の実施

(新) ○ 海洋プラスチックごみ削減に向けた周知啓発

(新) ○ J A M S T E C 設立 50 周年記念行事の実施

⑤ 学会・スポーツ合宿等の誘致 2,069 千円 【文化スポーツ観光部企画課】

学会の開催やスポーツ合宿について働きかけを行うとともに、運営を支援することで、学会・スポーツ合宿等を誘致し、宿泊、飲食、観光による経済効果や市のブランドイメージの向上と発信を図ります。

- 会場の優先予約、観光・宿泊施設の情報提供
- 国際会議等の開催に係る経費の一部を助成
- スポーツ大会や合宿の開催に係る経費の一部を助成

(3) 横須賀経済を支える中小企業等の再興支援

① 市内企業の人手不足解消と雇用の促進 15,823 千円 【経済部経済企画課】

人手不足により受注機会を減少させるなどの影響が生じないように、求人などの対策を支援し、市内雇用を促進します。

- 合同企業就職説明会の開催
 - ・ 高校生や大学生、退職予定自衛官および社会人求職者を対象とした説明会を開催
- 求人情報発信サイトの運営
- 外国人労働力の導入支援
- 職業技術校など就学者に対する奨励金の支給

② 事業承継に対する支援 2,855 千円 【経済部経済企画課】

経営者の方々に向けて、早くから事業承継対策に取り組んでいただけるよう支援します。

- 事業承継に対する助成
 - ・ 事業承継を実施する際にかかる資産査定などの費用の一部を助成
 - ・ 補助率：1/2、限度額：50万円
- 事業承継セミナーの開催
- アトツギベンチャープロジェクトの開催
 - ・ 事業承継時に新規事業開発や業態転換をするためのノウハウやプランニング能力を養うワークショップを開催

③ 商業の活性化 58,977 千円 【文化スポーツ観光部商業振興課】

「横須賀市商店街応援アクションプラン」に基づき、商店街が行う活性化への取り組みや、新たな顧客の獲得を目指す取り組みを支援します。

- 店舗オンライン化支援事業
 - ・ 変化し続ける社会に対応するため、市内小規模企業や個人事業者を対象として、ECサイトの開設、キャッシュレス化、シニアマーケットの取込みなどを支援するセミナーの開催
- 商店街にぎわいづくり事業補助金
- 空き店舗出店促進事業補助金
- 商店街法人化支援補助金
- 商店街共同施設整備・補修・撤去事業補助金
- 商店街街路灯等電気料金等補助金

* ECサイト (electronic commerce site)

インターネット上で商品を販売する Web サイト

④ ものづくり産業の振興 10,409 千円 【経済部企業誘致・工業振興課】

製造業の技術力向上および変革、ビジネスチャンスの拡大を図るため、各種支援を行います。

- 中小製造業者が行う技術開発等（新製品・新技術の研究開発や新分野への進出）に要する費用や、設備投資（新製品などの量産化のための設備投資）に要する費用の一部を助成
 - ・ 補助率：1／2
 - ・ 技術開発等の場合の限度額：200 万円
 - ・ 設備投資の場合の限度額：500 万円
- 産業見本市出展など企業の製品や技術のPR活動費用の一部を助成
 - ・ 補助率：1／2、限度額：10～20 万円
- ビジネスチャンス拡大のため、受発注機会を創出

⑤ 電気自動車（EV）の普及促進 6,894千円 【経済部企業誘致・工業振興課】

市内産業の活性化と低炭素社会の実現に向け、今後の成長分野として重要な電気自動車（EV）の普及を促進します。

○ 共同住宅や民間事業者などの充電器設置に対する助成

- ・補助率：4／5、限度額1敷地150万円

災害時に活用可能な充電器設置の場合は、限度額1敷地200万円

マンション管理組合が充電器の設置を検討する際の図面などの資料作成は、限度額15万円

○ 民間事業者のEV購入に対する助成

- ・限度額20万円

EVと災害時に活用可能な給電器の同時導入の場合は、限度額30万円

(4) 横須賀の「おいしい食」を生かした地域経済の振興

① 佐島地区活性化の検討 537 千円 【みなと振興部水産振興課】

佐島地区における水産業の現状や地域特性などを踏まえ、地域の活性化に向けた具体的な検討を行います。

- 佐島漁港本港地区の6次産業化などの検討
- 今後の実践的な事業展開に向け、個別の活性化策についてアドバイザーを招き協議

② (拡) 地産地消の推進 5,683 千円 【経済部農業振興課、みなと振興部水産振興課】

海と緑を生かした活気あふれるまちづくりを実現するため、「横須賀市地産地消推進アクションプラン(第3次)」に基づいて、地場産農水産物の魅力をアピールして消費の拡大を図り、横須賀の農水産業をはじめとした様々な産業の活性化を目指します。

- (新) ○ 市内生産者等が直接販売を行う、よこすか野菜トラック市の開催
- (新) ○ 市内在住の料理研究家と連携し、オンラインを活用した、よこすか野菜の企画や情報発信
 - ロゴマークなどを活用した「よこすか野菜」のPR活動
 - JAよこすか葉山が実施する市場等販売の強化促進に資する事業に対する助成
 - ・補助率：1/2以内
 - 種苗放流事業に対する助成

(5) 観光立市の実現に向けた環境づくり

① (拡) ルートミュージアム事業の推進 84,187千円

【文化スポーツ観光部文化振興課、観光課、環境政策部公園建設課】

令和3年度（5月上旬予定）にルートミュージアムの中核拠点である「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸」をオープンします。管理・運営にあたり民間事業者（指定管理者）のノウハウを活用し、集客を促進します。

- 開館セレモニーの実施
- 建物のライトアップ
- バスツアーの誘致
- ルートミュージアム事業の普及・促進
- 周遊促進のための様々な企画やキャンペーンの実施
- 飲食・お土産等物販施設の誘致
 - ・ ティボディエ邸オープンに合わせ、ヴェルニー公園内に新たな飲食・物販施設の誘致に取り組みます。
- 貝山緑地のトイレ建て替え（令和4年度竣工予定）

* ルートミュージアム事業

横須賀に点在する開国から近代につながる歴史や文化の見どころと自然豊かなスポットを「ルート」でつなぎ、市内全体を大きな「ミュージアム」としてとらえるもの

②（拡）観光立市の推進 13,835 千円 【文化スポーツ観光部企画課、観光課】

音楽・スポーツ・エンターテインメントの要素と、横須賀が持つ自然や歴史、文化を融合させて、観光産業を基幹産業に成長させることを目指します。横須賀の魅力を高め、他の地域との差別化を図ることにより、新たな観光客や再来訪を促進させ、観光消費額の拡大を図ります。

また、観光客の動向を把握するための観光マーケティング調査を実施し、必要に応じて観光立市推進基本計画の見直しを行います。

さらに、横須賀市の魅力発信につながる、新たなお土産の開発にかかる支援を行うとともに、観光客の利便性向上と若松町1丁目地区の再開発を見据えて、観光案内所（スカナビ①）を移転します。

○ 観光マーケティング調査の実施

（新）○ 地域魅力向上のためのお土産開発支援

- ・お土産の開発・製造・販売に関する提案を募集し、優秀な提案に奨励金の交付を行うとともに、市内外の団体や事業者とも連携する。

（新）○ 観光案内所（スカナビ①）の移転

- ・観光案内所を横須賀中央駅改札口すぐ横の建物に移転し、初めて横須賀を訪れた観光客にもわかりやすくするとともに、利便性の向上を図る。

○ よこすかポートマーケットリニューアルに向けた調整

- ・令和4年（2022年）春のリニューアルオープンに向けた、（一財）シティサポートよこすかや運営事業者との調整

③ (拡) 集客プロモーションの推進 124,091千円 【文化スポーツ観光部観光課】

横須賀市の地域資源を、発信力のある民間事業者やコンテンツと連携することで、戦略的にプロモーションし、地域経済の活性化を図るため、「横須賀集客促進・魅力発信実行委員会」(京浜急行電鉄(株)、横須賀商工会議所、(一社)横須賀市観光協会、横須賀市)による観光施策などを実施します。

また、新たなツールとしてICTなどを活用することで効率的な観光周遊の促進を図ります。

(拡) ○ eスポーツの推進

- ・市内外の方がeスポーツを楽しめる拠点(コアプレイス)の開設
- ・大会の誘致・開催、市内高校の部活動の支援

(新) ○ イベントデザインプロジェクトの実施

- ・商店街の雰囲気づくりや世界観を中心としたプロモーションを民間企業と連携して実施

(拡) ○ 横須賀市のグルメを活用したPRの実施

- ・夜の飲み屋ガイドマップ制作

○ インバウンド事業の推進

- ・多言語観光情報サイト「ガイドア」やfacebookを活用した情報発信

(拡) ○ アニメやゲームなどのサブカルチャーの活用

- ・海のアニメをテーマにした大規模イベントの開催

○ サイクルツーリズムの推進

- ・観光地間のアクセスの向上および、新たな周遊ツールの開発

(拡) ○ インスタグラムを活用した情報発信

(拡) ○ 観光情報サイト「ここはヨコスカ」のリニューアル

(拡) ○ ICTなどを活用した周遊の促進

(新) ○ 鎌倉時代ゆかりの文化財を活用した周遊企画の実施

- ・大河ドラマを契機とした周遊企画の実施

④ セールスプロモーションの推進 26,063 千円 【文化スポーツ観光部観光課】

観光キャンペーンや旅行事業者、メディアなどへのセールスを行い、横須賀市の魅力を発信し、来訪や市内周遊を促進します。

(拡) ○ ツアーセールスの推進

- ・ 団体ツアーのための旅行事業者などへのセールス活動の実施
- ・ 横須賀と北九州間の新規フェリー航路就航を見据えたツアー造成の促進
- ・ 新たな観光資源の開発
- ・ バスツアー助成の実施

○ メディアセールスの推進

- ・ テレビ、雑誌などのメディアを活用したPRのためのセールス
- ・ 撮影支援の実施
- ・ 取材・番組制作に対する動画等の素材の提供

⑤ (拡) 猿島公園のトイレ新設 189,750 千円 【環境政策部公園建設課】

猿島公園の来園者数増に伴い生じているトイレ不足を解消するため、トイレ新設工事を行います（令和4年5月竣工予定）。

2 地域で支え合う福祉のまちの再興

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちの実現～

(総合戦略 基本目標2 人口減少社会に対応したまちづくりを進める)

横須賀市では、今後もさらに高齢化が進み、75歳以上の高齢者は当面は増え続けることが予測されます。特にひとり暮らしの方や障害のある方、認知症高齢者等は増加傾向にあり、これに伴い、さまざまな課題が生じると考えられます。

また、個人や世帯が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化している中で、例えば、社会的孤立やダブルケア、8050問題など複合的な課題や人生を通じて複雑化した課題が表出しています。

これらの課題はすべての人に起こり得るものですが、個別性が極めて高く、従来の社会保障制度では十分な対応が困難です。

こうした将来を見据えた中で、「地域における支え合いの強化」、「日常生活や将来に不安を抱える方々への支援」、「健康管理意識の向上、行動変容を促すための取り組みの推進」、「適切な医療・介護体制等の整備」、「横須賀らしさを生かした地域コミュニティの活性化」、「毎日の暮らしやすさの向上」に取り組みます。

(1) 地域における支え合いの強化

① (拡) 介護予防活動への支援 17,091千円 【福祉部健康長寿課】

全ての高齢者を対象に、要介護状態とならないための介護予防に関する知識の普及啓発を図ります。

また、地域の介護予防活動を身近な通いの場で展開し、健康意識の向上を推進します。

- 介護予防サポーターの養成
- フレイルサポーターの養成およびフレイルチェック教室の実施
- リハビリテーションの専門職員を町内会館などに派遣

(拡) ○ 自立支援・介護予防のための地域ケア個別会議の実施

- ・ より効果的な介護予防サービスを提供するための事例検討および地域課題の抽出をリハビリテーション専門職の助言を受けて実施

*フレイル

筋力、認知機能、社会とのつながりなどの心身の活力が低下した状態

(2) 日常生活や将来に不安を抱える方々への支援

① (拡) 障害者の雇用促進 131,896 千円

【福祉部障害福祉課、経済部経済企画課、総務部総務課】

障害者の雇用の促進と就労の定着を図ることにより、障害者の自立と社会参加を充実させます。

- 企業などに対する障害者雇用奨励金の支給
- 障害者の雇用に前向きな企業の表彰

(拡) ○ 障害者ワークステーションよこすかの障害者スタッフ数の増

・ 6人 → 9人

- 障害者職場等介助ヘルパー派遣費用の助成

② (拡) 障害者の就労支援 36,303 千円 【福祉部障害福祉課】

一般就労が困難な在宅障害者の就労を推進するため、個人の能力に応じた就労の場の確保や日常生活の支援を行うとともに、就職した後も定着に向けた支援を行います。

また、農福連携を推進します。

- よこすか就労援助センターにおいて就労支援を行う職員の配置
- 障害福祉施設などの職員が行う職場定着支援に対する助成
- 職場定着サポーターの派遣

(新) ○ 障害のある中学生を対象とした農業就労体験事業の実施

③ (拡) 障害者の相談支援体制の充実 92,694 千円

【福祉部地域福祉課 (障害福祉課)】

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、「障害者基幹相談支援センター」を「ほっとかん」に設置し、関係部署や専門機関と連携を図り相談支援事業所などに対する助言、研修の実施などを行い、相談支援体制の充実を図ります。

(新) ○ 障害者基幹相談支援センターの設置

④ 高齢者虐待防止の推進 3,140 千円 【福祉部地域福祉課】

高齢者への虐待を防止するため啓発を行うとともに、関係機関と連携しながら虐待を早期に発見し、高齢者および介護者への支援を行います。

- 未然防止、早期発見、迅速かつ適切な対応
 - ・ 電話や訪問による相談
 - ・ ケース支援のための関係機関との連携会議の開催
 - ・ 高齢者、介護者のためのこころの相談
 - ・ 市民啓発講演会、介護職員向け研修会などの開催

⑤ (拡) 地域における各種相談の解決への支援 759 千円

【市民部田浦行政センター、浦賀行政センター、久里浜行政センター、西行政センター】

地域住民の抱える困り事に対して、必要な相談の機会を提供し、課題解決に向けた継続的な支援を行います。

- (拡) ○ 新たに久里浜行政センター、西行政センターに常設の相談窓口を設置
- 地域住民などから寄せられる種々の相談への対応
 - 地域における支え合いの基盤づくりの支援や促進

⑥ 人権擁護事業の推進 6,551 千円 【市民部人権・男女共同参画課】

「横須賀市人権施策推進指針」に基づき、人権施策を総合的かつ効果的に進めます。

また、パートナーシップ宣誓証明制度の相互利用を推進します。

- 人権施策推進会議の開催
- 人権関係団体への支援
- 人権啓発推進の取り組み
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関連して、差別、偏見、いじめ等を行わないよう情報を発信します。

⑦ (新) 福祉コミュニケーションツールの充実 592 千円 【福祉部地域福祉課】

市民との新たなコミュニケーションツールを構築し、必要な人が福祉サービスにつながりやすくなる環境を整備します。

- 福祉施策ガイドの作成
- 福祉に特化したLINEアカウントの運用（相談受付など）

⑧ (新) ひきこもり状態にある方を対象とした居場所づくり事業 835 千円

【福祉部生活支援課（生活福祉課）】

アウトリーチ支援等で支援した方が自宅から出るための第一歩として、また、当事者や経験者等の交流の場として、中間的、過渡的な役割となる居場所を提供します。

- 居場所の提供
 - ・ 気軽に自由に立ち寄ることができる場所
 - ・ 交流会の実施

* アウトリーチ支援

より丁寧な支援を必要とする方やその家族に対し、本人宅への訪問を行い、信頼関係を構築することにより、社会参加を目指す支援

⑨ 災害応急対策の推進 70,349 千円 【市民部危機管理課】

大規模な災害発生時において、市民の生活を維持するため、生活関連物資などの備蓄・管理を行い、災害発生時の迅速・的確な応急対策を実施します。

- 総合防災訓練の実施
- 災害用食料の備蓄
- 100 m³非常用貯水装置の維持管理

⑩ 自主防災組織の活動支援 37,462 千円 【市民部地域安全課、消防局警防課】

災害に対する「自助」「共助」の体制を強化するため、自主防災組織の活動を支援し、地域における防災力の向上を図ります。

- 防災器材などの整備費の助成
- 自主防災訓練報償金の交付
- 避難所運営委員会活動費の助成
- 自主防災訓練の指導

⑪ 安全で安心なまちづくりの推進 14,759 千円 【市民部地域安全課】

市民の誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するため、地域ぐるみの防犯活動を推進します。

- 地域防犯活動の支援
- 企業との防犯協力
- 地域安全安心活動関係物品の支給
- 安全・安心まちづくり推進連絡協議会の運営
- 迷惑電話防止機能付電話機等購入費の助成

⑫ 自殺対策と精神保健対策の充実 24,189 千円 【健康部保健所健康づくり課】

コロナ禍において自殺者が増える中、悩みのある方がまずは相談してもらえるよう、支える人材の養成や情報発信などに、より一層力を入れていき、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指します。

また、精神障害者の社会復帰および自立と社会経済活動への参加を促進するとともに、精神的な不調を訴える方へ早期介入を図ります。

- 自殺対策の推進
 - ・ 自殺対策を支える人材の養成
 - ・ 情報発信の強化
 - ・ 自殺未遂者支援
 - ・ 自殺対策計画の進捗管理
- こころの電話相談
- 精神障害者やその家族に対する支援
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進
- 精神障害とこころの健康に関する正しい知識の普及啓発
- ひきこもりや家族に対する支援

*** 地域包括ケアシステム**

地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、介護、住まい、社会参加、地域の助け合いが包括的に確保された体制

(3) 健康管理意識の向上、行動変容を促すための取り組みの推進

① (拡) 特定保健指導実施率向上のための取り組み 16,702 千円

【福祉部健康長寿課】

特定健康診査の結果、将来の生活習慣病のリスクが高いと判定された特定保健指導の対象者が、スマートフォンやタブレット端末等（ICT）を利用した自宅での面接を可能にすることで、特定保健指導を利用しやすい環境を作ります。特定保健指導の実施率向上を図ることで、生活習慣病の予防・改善を促進します。

(拡) ○ ICT活用による特定保健指導の充実

- はがき・電話による利用勧奨
- 生活習慣病の発症予測ツールを用いた高リスク者への通知
- 実施医療機関の増加や質の向上を図るための研修会の実施

② (拡) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けた取り組み

9,957 千円 【健康部保健所健康づくり課、福祉部健康長寿課】

健康寿命の延伸を図り、医療・健診・介護情報を活用した高齢者の生活習慣病重症化予防や介護予防事業等の一体的な取り組みを推進するため、国保データベースシステム（KDB）に後期高齢者健康診査データを連携します。

(新) ○ 後期高齢者健康診査データをKDBに連携

* 国保データベースシステム（KDB）

「医療」「健診」「介護」などの情報を活用し、統計情報や個人の健康に関する情報が提供される国民健康保険連合会のシステム

③ (拡) 歯科口腔保健の推進 50,188 千円 【健康部保健所健康づくり課】

「横須賀市歯及び口腔の健康づくり推進計画」に基づき、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じたオーラルケアを推進します。

(拡) ○ 集団フッ化物洗口の実施 (4 歳児、5 歳児)

- ・市立保育園・幼稚園のみ→市内の全幼稚園・保育園・認定こども園

(拡) ○ オーラルフレイル予防教室の実施

- ・対象年齢 (65 歳以上→40 歳以上)
- ・実施会場 (9 ヶ所→19 ヶ所)
- ・新たに口腔機能の検査を実施

*** オーラルフレイル**

加齢に伴い口の機能が低下すること (むせる、口が渇く、固いものが噛みにくいなど)

(4) 適切な医療・介護体制等の整備

① 新市立病院の建設 185,714千円 【健康部市立病院課】

老朽化した「うわまち病院」の移転建て替えとなる新市立病院について、令和7年度（2025年度）の開院を目指し、整備を進めます。

○ スケジュール

- ・令和2～6年度（2020～2024年度）：実施設計および建設
- ・令和7年度（2025年度）：新市立病院開院

② (拡) 地域介護施設の整備などに対する支援 918,958千円

【福祉部介護保険課】

住み慣れた地域での生活を支える地域介護施設の整備などに要する費用を助成します。

(新) ○ 介護ロボット・ICTの導入（大規模修繕を伴うもの）

- ・限度額：1施設あたり42万円／定員1人

(新) ○ 介護職員のための宿舎建設

- ・限度額：1宿舎あたり補助率 総事業費の1／3

(新) ○ 共生型サービス事業所整備のための改修および設備の購入

- ・限度額：1事業所あたり102.9万円

(新) ○ 看取り環境整備のための改修および設備の購入

- ・限度額：1事業所あたり350万円

(新) ○ 特別養護老人ホーム整備（介護施設等の創設を条件に行う大規模修繕）

- ・限度額：1施設あたり112.8万円／定員1人

(拡) ○ 特別養護老人ホーム整備（多床室のプライバシー保護のための改修）

- ・限度額：1施設あたり73.4万円／定員1人

○ 認知症高齢者グループホーム防災改修

- ・限度額：1事業所あたり773万円

○ 非常用自家発電設備の整備

- ・限度額：1施設あたり補助率 総事業費の3／4

○ 給水設備の整備

- ・限度額：1施設あたり補助率 総事業費の3／4

(5) 横須賀らしさを生かした地域コミュニティの活性化

① (拡) 小学校を拠点とした地域コミュニティの強化 1,130 千円

【市民部地域コミュニティ支援課】

小学校を地域コミュニティの拠点として、子どもから高齢者まで様々な世代の交流を促進し、地域の結びつきの強化を図ります。

- モデル校3校での交流活動の実施

(拡) ○ モデル校での活動など地域の先進事例を紹介し、地域主体の世代間交流を促進

② (拡) 谷戸の地形を活用した地域コミュニティの再生 19,702 千円

【都市部まちなみ景観課】

景観や自然環境に恵まれた横須賀の谷戸地域の潜在的な魅力を引き出し、活用する取り組みにより、個性ある地域コミュニティの再生を目指します。

(拡) ○ 特色ある地域コミュニティ再生に向けた「アーティスト村」の創出
・新たな在住アーティストの誘致と施設の整備

③ 市民公益活動の促進・支援 4,382 千円 【市民部市民生活課】

市民公益活動の活性化を図るため、市民や企業からの寄附金を積み立て、これを原資として市民公益活動団体を支援します。

- 特定非営利活動法人を対象とした補助金の交付
- 市民公益活動ポイント制度の実施および検証

・公益活動参加者に、市が指定する施設・商店などでの支払いや、市民公益活動団体などへの寄附に使えるポイント券を配付

- 寄附促進啓発事業の実施

④ 市民協働型まちづくりの推進 9,892 千円 【市民部市民生活課】

市民、市民公益活動団体、事業者および市がそれぞれの特長を生かし、互いに役割分担しながらまちづくりを推進していくため、各種事業を実施します。

- 市民協働審議会の開催
- 市民公益活動団体を対象とした補助金の交付
 - ・ 市民協働推進補助金
補助率：4／5、限度額：50 万円
- 市民協働モデル事業の実施
- 市民まちづくりサポーター保険制度の運用
 - ・ 市民公益活動や市民協働事業における事故に備え、市が保険料を負担
- 市民協働啓発事業の実施

(6) 毎日の暮らしやすさを向上させるための取り組み

① (拡) デジタル・ガバメントの推進 119,620千円

【経営企画部デジタル・ガバメント推進室】

ICTを活用し、利用者中心の行政サービスの実現、行政事務の効率化・自動化などを推進するとともに、業務改革のノウハウやICTツールを使いこなすための研修を実施し、デジタル・ガバメントを推進する職員の育成を行います。

また、電子申請システム「e-kanagawa」のサービスを拡大します。

(拡) ○ ICTを利活用したサービス向上・業務効率化

(新)・住民手続きワンストップサービスの実証

(新)・業務用ビジネスチャットツールの導入

(拡)・旧軍港四市および民間事業者で官民連携による自治体業務プロセス標準化の研究

・BPMによる業務改革

○ 電子申請可能手続きの拡大

* デジタル・ガバメント

行政のデジタル化を進め、それを契機に、行政サービスの内容や提供方法、行政組織のあり方などを刷新するとともに、社会的課題の解決を進め、安全安心かつ公平、公正で豊かな社会の実現を目指すこと

* e-kanagawa

県内自治体（横浜市および川崎市を除く）が共同利用する電子申請システム。横須賀市では令和2年（2020年）6月から運用を開始

* BPM

Business Process Management の略。

業務プロセスの可視化・実行・改善といったPDCAサイクルを回し、業務課題の解決と、その組織能力を形成する経営手法

② (拡) キャッシュレス公金収納の開始 911千円 【税務部納税課、税制課】

令和3年（2021年）4月から、市民税・県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）の3種類について、キャッシュレス公金収納（モバイルレジ、モバイルレジクレジット、LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書払い）を開始します。

③（拡）職員のスキルアップ機会の充実 9,081 千円 【総務部人事課】

多様な行政ニーズに対応できる人材を育成するため、職員のスキルアップの機会を増やし、行政サービス全体の向上につなげます。

（新）○ eラーニングシステムの導入

*** eラーニング**

パソコンやインターネットを利用し、場所や時間の制約を受けずに学べる学習形態

3 子育て・教育環境の再興（整備・充実）

（総合戦略 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

少子高齢化のさらなる進展により横須賀市の人口は減少を続けています。市民へのアンケート調査では出産に関して、「理想の子ども数」に「実際の子ども数」が追い付いていない状況が見られ、その大きな理由は「経済的な負担」や「育児に対する心理的・肉体的な負担増への不安」にあることが分かります。

市民の出産・子育ての希望をかなえ、出生数を増やしていくため、「出産・子育て環境の充実」、「子育て世代が働きやすい環境づくり」に取り組みます。

また、子どもたちが成長していく過程で、「教育」は大変大きな役割を担っています。多様な学習機会の提供による学力の向上をはじめとした教育環境の充実を図ります。

（1）出産・子育て環境の充実

① 幼児教育・保育の無償化への取り組み 2,005,379 千円

（事業に係る歳出の増額分と歳入の減額分の合算額）

【こども育成部保育課、幼保児童施設課、教育委員会教育指導課ほか】

令和元年（2019年）10月から実施された国の幼児教育・保育の無償化と併せて、市独自の無償化を実施しています。

- 幼稚園、保育所、認定こども園などの教育・保育施設を利用している児童にかかる保育料を無償化
 - ・ 3歳から5歳：全世帯
 - ・ 0歳から2歳：住民税非課税世帯
- 上記の無償化に加え、0歳から2歳は市独自に年収500万円未満相当世帯の保育料を無償化
- 認可外保育施設などを利用、または幼稚園、認定こども園の教育利用と併せて預かり保育を利用している児童のうち、保育の必要性があると認められる児童についても、教育・保育施設の利用児童と同様に保育料を無償化
 - ・ 3歳から5歳：月額37,000円（預かり保育は月額11,300円）
 - ・ 0歳から2歳：月額42,000円（預かり保育は月額16,300円）

をそれぞれ上限とする。

② (拡) 妊娠期から子育て期にわたる包括的な支援 7,699 千円

【こども育成部こども健康課】

妊産婦の育児不安を解消するため、母子保健コーディネーターによる妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援(横須賀版ネウボラ)を行います。

(拡) ○ 自宅や助産院などで産後の母子の心身のケアや育児サポートなどを行う産後ケアを実施

- ・ 利用料の一部を助成

(拡) ・ 安定した産後ケアの実施のため事業費を拡充

(拡) ○ 負担の大きい多胎児の育児を支援するため、利用料の多胎児加算を廃止

***ネウボラ**

フィンランドの妊娠から育児まで継続した包括的な支援拠点のこと。そこから派生して、横須賀市の妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援事業を「横須賀版ネウボラ」と称する

③ (拡) 特定不妊治療に対する支援 80 千円 令和2年度補正予算：123,000 千円

【こども育成部こども健康課】

特定不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成します。

(拡) ○ 1回あたりの助成額の増

- ・ 1回目 30万円、2回目 15万円 → 1回 30万円
- ・ 凍結胚移植および採卵したが卵が得られない等のため中止したものは、1回 7万5千円→10万円

(拡) ○ 助成回数が増

- ・ 生涯6回まで → 1子ごとに6回まで
(40歳以上43歳未満は3回まで)

○ 特定不妊治療の一環として行う男性不妊治療に対して、1回の治療につき30万円まで助成

○ 特定不妊治療を行う法律上の夫婦および事実婚のカップルに助成

(拡) ○ 所得制限を撤廃

④ (拡) 不育症治療に対する支援 984 千円 【こども育成部こども健康課】

不育症治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費および不育症判定検査費の一部を助成します。

- 治療費
 - ・助成額：1回の治療につき30万円まで
 - ・限度額：1年度あたり30万円まで
- 不育症判定検査費
 - ・限度額：1年度あたり5万円まで
- 法律上の夫婦および事実婚のカップルに助成

(拡) ○ 所得制限を撤廃

⑤ 不妊・不育専門相談センターの推進 1,436 千円 【こども育成部こども健康課】

子どもを希望する夫婦などが安心して妊娠・出産できるように、相談センターの講演会や相談会、LINE相談などを実施します。

- 専用電話、来所、メールなどによる相談
- 妊活・不妊講演会および生殖医療専門医による相談会の開催
- 不妊や流産などで悩む当事者のための交流会やグリーフケアなどの実施
- 妊娠や不妊などのLINE相談の実施

*グリーフケア

近しい人と死別し、悲観(グリーフ)している方に寄り添い援助する取り組み

⑥ (拡) 乳児の結核予防 22,521 千円 【こども育成部こども健康課】

令和3年(2021年)5月から、乳児へのBCG予防接種を集団接種から個別接種へ移行します。

⑦ (拡) ひとり親家庭の経済的自立の促進 51,406 千円

【こども育成部こども青少年給付課】

ひとり親の就労などを支援し、経済的自立の促進を図ります。

- 就労相談の実施
- 就業支援のため、パソコン講座を実施

(拡) ○ 養育費確保支援事業の実施

(拡) ・ 弁護士相談事業の実施

年間 13 回 → 15 回

国際離婚に特化した弁護士相談実施 (年 3 回) を含む

・ 公正証書等作成促進事業の実施

公正証書等の公的書類作成に要する費用 (公証人手数料など) を
全額助成

・ 養育費保証促進事業の実施

養育費の保証契約を締結した場合に保証料相当額を助成

限度額：5 万円

(拡) ・ 離婚前段階からの養育費周知強化

離婚前段階から養育費について知っていただくために作成する
チラシやカードから、別途作成する YouTube 動画に誘導すること
で、わかりやすい周知の仕組みを作ります。

- 在宅就業推進事業の実施
- 母子家庭等自立支援給付金の給付

⑧ (拡) 私立幼稚園等に対する助成 149,682 千円 【こども育成部幼保児童施設課】

教育・保育の内容および環境の充実を図るため、私立幼稚園等に対し、各種助成を実施します。

(新) ○ 2歳児子育て支援事業に対する助成

・ 障害のある2歳児が未就園児教室等を利用する場合に、私立幼稚園等が行う利用料の減免に対し助成します。

・ 助成額：月額5,000円を上限

○ 教材等の購入を助成

○ 障害児の教育に要する経費の一部を助成

○ 園舎の新築、増改築、改修等に要する工事費の一部を助成

○ 横須賀市私立幼稚園協会が実施する教職員の研修等に要する経費の一部を助成

⑨ (新) ソーシャルワーク機能の強化 26,456 千円

【こども家庭支援センターこども家庭支援課】

児童虐待の未然防止・重篤化を防ぐことを目的としてこども家庭総合支援拠点を設置し、子どもとその家庭および妊産婦を対象に、総合的な相談支援業務を行います。

○ 訪問等および地域と連携したソーシャルワーク

○ 要保護児童対策地域協議会を活用した関係機関との連絡調整

② (新) 一時預かり事業 (ウェルシティ) の実施 13,531 千円

【こども育成部保育課】

ウェルシティ市民プラザ託児室を活用して、地域の子育て家庭を対象とした一時預かり事業を実施します。

③ (仮称) 中央こども園の整備 637,917 千円

【こども育成部こども育成総務課 (保育課)】

上町保育園と鶴が丘保育園を統合した認定こども園と子育て支援機能 (愛らんど、一時預かり、ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育) を併せ持つ拠点施設を整備します。

- スケジュール
 - ・ 令和3年度 (2021年度) : 改修工事
 - ・ 令和4年度 (2022年度) : 開園

④ (拡) 保育士の働く環境の整備 206,010 千円 【こども育成部幼保児童施設課】

保育現場の最前線で活躍する保育士の働きやすい環境を整備するため、処遇改善、現場の負担軽減・環境向上および就業継続支援に係る各種事業を推進します。

- 横須賀市独自の処遇改善の実施 (経験年数7年以上の保育士等全員)
 - ・ 助成額 : 1人あたり4万円/月
- 保育補助者・保育支援員の配置
 - ・ 助成額 : 保育補助者 1人あたり233万3,000円/年
 - 保育支援員 1人あたり120万円/年
- (新) ○ 保育士に対する宿舍借り上げ支援
 - ・ 助成額 : 1人あたり52万2,000円/年

⑤ (拡) 放課後児童対策の推進 761,150 千円 【こども育成部こども育成総務課】

共働き家庭など留守家庭の小学生の健全育成を図るため、各種事業を実施します。

- (拡) ○ 民設民営の放課後児童クラブの拡充
 - ・ 71 団体 → 74 団体
- 公設の逸見小学校放課後児童クラブの運営委託
- (拡) ○ 放課後子ども教室の拡充
 - ・ 小学校 4 校 → 小学校 5 校
- (拡) ○ 放課後児童クラブ設置のための教室改修
 - ・ 小学校 2 校
- 放課後児童クラブ施設整備費補助の実施
 - ・ 1 団体

⑥ (拡) 中学校完全給食の開始 2,582,906 千円

【教育委員会学校食育課 (保健体育課)】

食育の充実と子育て世代の負担軽減のため、市立全中学校 (23 校) に完全給食 (主食、おかず、牛乳) を提供します。

- スケジュール
 - ・ 7 月 給食センター竣工
 - ・ 8 月～9 月 開業準備
 - ・ 9 月下旬 完全給食の開始

(3) 学力向上・学習環境の充実

① (拡) 横須賀こども学力向上プロジェクトの推進 139,165 千円

【教育委員会教育指導課、教育研究所】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、組織的に学力向上の取り組みの充実や推進を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症による臨時休校の影響で学習の定着に不安がある児童生徒を支援するため学習支援員を追加配置します。

② (拡) 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 20,625 千円

【福祉部生活支援課（生活福祉課）】

生活困窮世帯の子ども（中学3年生）を対象に、全日制高等学校へ進学できるよう学習支援を行い、当該世帯の貧困からの離脱、貧困の連鎖の防止を図ります。

- ・ 実施方法：週1回程度、コミュニティセンターなどで、数学、英語の学習会を実施

(拡)・ 実施会場の拡充

8カ所 → 9カ所（北下浦地区に新設）

③ (拡) ICT活用教育の推進（GIGAスクール構想対応） 257,474 千円

【教育委員会教育研究所（教育政策課）】

「横須賀市GIGAスクール構想整備計画」に基づき、児童生徒1人1台の端末や高速大容量通信ネットワークを整備し、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びや創造性を育む学びを実現します。

④ (新) 医療的ケアが必要な児童への看護師配置 2,453 千円

【教育委員会支援教育課】

市立養護学校へ在籍している医療的ケアが必要な児童が居住地学区の小学校に通学できるよう、小学校に看護師を1人配置します。

⑤（拡）部活動指導員の配置（市立中学校・高等学校） 7,141 千円

【教育委員会保健体育課、教育指導課】

市立中学校・高等学校の部活動に関して、顧問として実技指導や学校外での引率などが行える「部活動指導員」を配置し、教員の負担軽減を図ります。

- 部活動指導員（中学校） 4人 → 7人
- （新）○ 部活動指導員（高等学校） 0人 → 1人

(4) 横須賀の特性を生かした教育機会の提供

① (拡) ホームタウンチーム活動の推進 1,513 千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

横須賀市をホームタウンとしているプロスポーツチーム（横浜F・マリノス、横浜DeNAベイスターズ）の選手・コーチなどが幼稚園や学校を訪問し、体を動かし直接ふれあうことなどで、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます。

また、ホームタウンチームと地元地域とが連携したまちづくりを推進し、市民のスポーツに対する愛着を深めるとともに、地域の活性化を図ります。

- 選手・コーチなどが幼稚園や学校を訪問
- 横須賀市こども招待デー（横浜DeNAベイスターズ）のチラシ印刷・配布
- 横須賀スタジアムへのアクセス道の電柱装飾
- 新入団選手歓迎式（横浜DeNAベイスターズ）
- (新) ○ 転入者への横浜F・マリノス試合観戦招待チラシの配布
- (拡) ○ 横浜F・マリノス原付ナンバープレート周知の強化

② (拡) スポーツリズムトレーニングの普及 7,841 千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課】

音楽の緩急を活用して、様々なリズムパターンを学習するスポーツリズムトレーニングを小学校の体育の授業に導入し、横須賀の子ども達の怪我の防止や運動能力の向上につなげます。

- (拡) ○ 導入する小学校の増 5校 → 10校

4 歴史や文化を生かしたにぎわいの再興

～「観光立市よこすか」の実現～

(総合戦略 基本目標4 関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境をつくる)

観光を産業の柱とする「観光立市よこすか」の実現に向け、観光立市推進条例に基づき、魅力的な資源を生かした様々な取り組みを進めています。

新型コロナウイルス感染症の感染リスクに対しても、新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進により観光産業をより強靱なものに変え、基幹産業として成長させることで、まちの賑わいを消費拡大につなげていく必要があります。

こうした状況から、都心に近い地理的な優位性や他の都市にはない地域資源を生かし、横須賀らしいエンターテインメント、スポーツによるにぎわいづくりを進めていきます。特に音楽、スポーツには人の心を高揚させる強い力があります。市内経済に停滞感が生じているなか、音楽、ダンス、スポーツを通じて、市民がワクワクする、楽しめる環境の充実を図ります。

(1) 観光立市の推進

① (拡) 観光立市の推進 13,835 千円 (P.29 再掲)

【文化スポーツ観光部企画課、観光課】

音楽・スポーツ・エンターテインメントの要素と、横須賀が持つ自然や歴史、文化を融合させて、観光産業を基幹産業に成長させることを目指します。横須賀の魅力を高め、他の地域との差別化を図ることにより、新たな観光客や再来訪を促進させ、観光消費額の拡大を図ります。

また、観光客の動向を把握するための観光マーケティング調査を実施し、必要に応じて観光立市推進基本計画の見直しを行います。

さらに、横須賀市の魅力発信につながる、新たなお土産の開発にかかる支援を行うとともに、観光客の利便性向上と若松町1丁目地区の再開発を見据えて、観光案内所（スカナビ①）を移転します。

○ 観光マーケティング調査の実施

(新) ○ 地域魅力向上のためのお土産開発支援

・お土産の開発・製造・販売に関する提案を募集し、優秀な提案に奨励金の交付を行うとともに、市内外の団体や事業者とも連携する。

(新) ○ 観光案内所（スカナビ①）の移転

・観光案内所を横須賀中央駅改札口すぐ横の建物に移転し、初めて横須賀を訪れた観光客にもわかりやすくするとともに、利便性の向上を図る。

○ よこすかポートマーケットリニューアルに向けた調整

・令和4年（2022年）春のリニューアルオープンに向けた、(一財)シティサポートよこすかや運営事業者との調整

② (拡) 集客プロモーションの推進 124,091 千円 (P.30 再掲)

【文化スポーツ観光部観光課】

横須賀市の地域資源を、発信力のある民間事業者やコンテンツと連携することで、戦略的にプロモーションし、地域経済の活性化を図るため、「横須賀集客促進・魅力発信実行委員会」(京浜急行電鉄(株)、横須賀商工会議所、(一社)横須賀市観光協会、横須賀市)による観光施策などを実施します。

また、新たなツールとしてICTなどを活用することで効率的な観光周遊の促進を図ります。

(拡) ○ eスポーツの推進

- ・市内外の方がeスポーツを楽しめる拠点(コアプレイス)の開設
- ・大会の誘致・開催、市内高校の部活動の支援

(新) ○ イベントデザインプロジェクトの実施

- ・商店街の雰囲気づくりや世界観を中心としたプロモーションを民間企業と連携して実施

(拡) ○ 横須賀市のグルメを活用したPRの実施

- ・夜の飲み屋ガイドマップ制作

○ インバウンド事業の推進

- ・多言語観光情報サイト「ガイドア」やfacebookを活用した情報発信

(拡) ○ アニメやゲームなどのサブカルチャーの活用

- ・海のアニメをテーマにした大規模イベントの開催

○ サイクルツーリズムの推進

- ・観光地間のアクセスの向上および、新たな周遊ツールの開発

(拡) ○ インスタグラムを活用した情報発信

(拡) ○ 観光情報サイト「ここはヨコスカ」のリニューアル

(拡) ○ ICTなどを活用した周遊の促進

(新) ○ 鎌倉時代ゆかりの文化財を活用した周遊企画の実施

- ・大河ドラマを契機とした周遊企画の実施

③ セールスプロモーションの推進 26,063千円 (P.31 再掲)

【文化スポーツ観光部観光課】

観光キャンペーンや旅行事業者、メディアなどへのセールスを行い、横須賀市の魅力を発信し、来訪や市内周遊を促進します。

(拡) ○ ツアーセールスの推進

- ・団体ツアーのための旅行事業者などへのセールス活動の実施
- ・横須賀と北九州間の新規フェリー航路就航を見据えたツアー造成の促進
- ・新たな観光資源の開発
- ・バスツアー助成の実施

○ メディアセールスの推進

- ・テレビ、雑誌などのメディアを活用したPRのためのセールス
- ・撮影支援の実施
- ・取材・番組制作に対する動画等の素材の提供

(2) 歴史遺産の活用促進

① 浦賀奉行所開設 300 周年記念事業の実施 42,493 千円

【文化スポーツ観光部企画課、文化振興課、観光課、市民部浦賀行政センター、市長室基地渉外課（国際交流課）、教育委員会生涯学習課、上下水道局総務課、下水道管渠課】

江戸時代中期から幕末まで、歴史的に重要な役割を果たした浦賀奉行所が、令和 2 年（2020 年）に開設 300 周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響により 1 年延期となりましたが、これを記念したイベントを実施し、浦賀とその周辺地域のにぎわいの創出を図ります。

また、浦賀奉行所が歩んだ功績や、浦賀に残る貴重な歴史遺産を広く周知するための取り組みを行います。

○ 記念イベントの実施

- ・ 浦賀ゆかりの帆船誘致・一般公開
- ・ 浦賀ドックの産業遺産を活用したプロジェクションマッピング

※予算額は（4）②に計上

- ・ 記念コンサートの開催
- ・ 記念式典の実施
- ・ 浦賀の伝統芸能の披露
- ・ 民間船会社による浦賀港クルーズの実施

○ 奉行所ゆかりの地との連携

- 浦賀奉行所跡遺構確認調査および調査報告ダイジェスト版の作成
- デザインマンホール蓋の設置およびマンホールカードの発行
- 浦賀奉行所開設 300 周年を記念した花火大会への助成
- 子ども向け歴史小冊子の制作・配布など

② 浦賀奉行所跡地活用の検討 378 千円 【都市部まちなみ景観課】

浦賀奉行所跡地について、適切な維持管理を行うとともに、地元関係者の要望や意見を聴きながら、暫定的な土地利用を検討します。

③ (新) 浦賀レンガドック周辺部の活用 10,507 千円

令和2年度補正予算：66,874 千円

【経営企画部企画調整課、みなと振興部港湾管理課】

令和3年(2021年)3月末に住友重機械工業(株)から寄附を受ける予定の浦賀レンガドック周辺部の土地について、令和3年度から市による適切な維持管理を開始し、浦賀奉行所開設300周年記念事業やガイド活動など暫定的な開放を行うために必要な整備を行います。また、海洋都市の実現に向けた重要拠点として、民間活力を含めた整備方針を検討するため、立地のポテンシャルや民間需要などの調査を行います。

- 浦賀レンガドック周辺部の維持管理
 - ・警備委託費、清掃委託費、修繕費、施設点検費など
- 浦賀レンガドック周辺部整備工事
 - ・場内障害物撤去等安全対策工事
 - ・既設トイレ改修工事(2カ所)
- 浦賀レンガドック周辺区域活用調査委託

④ (拡) 史跡東京湾要塞跡の保存と活用 112,071 千円 【教育委員会生涯学習課】

史跡東京湾要塞跡(猿島砲台跡、千代ヶ崎砲台跡)を未来に継承していくための調査・整備を行います。

- 千代ヶ崎砲台跡整備関連工事
- (新) ○ 千代ヶ崎砲台跡の公開

(3) スポーツを核としたまちづくり、スポーツによる集客促進

① (拡) 久里浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進

(横浜F・マリノスの練習拠点の整備ほか) 1,967,582千円

【文化スポーツ観光部商業振興課、環境政策部公園建設課】

スポーツによるまちの再興や地域経済の活性化を図るため、横浜F・マリノスの練習拠点の整備を推進します(令和4年(2022年)10月一部供用開始)。

また、横浜F・マリノスと連携した地域との取り組み、および商店街が行うスポーツを活用したイベントや、雰囲気づくりなどの主体的な取り組みを支援し、久里浜地域のまちづくりを推進します。

○ グラウンドほか公園の整備工事

(拡) ○ 公園の管理用建物ほか新築工事

○ 旧くりはまみんなの公園の代替公園の整備工事

(新) ○ 久里浜地域のスポーツを活用した商店街事業補助金

・ イベント等に係る経費の一部を助成

② (拡) 追浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進 96,400千円

【環境政策部公園建設課、土木部道路補修課】

スポーツを核としたまちづくりをさらに進めるため、横浜DeNAベイスターズの2軍本拠地である横須賀スタジアムなどの施設の改修や利便性の向上を図り、追浜地域のまちづくりを推進します。

○ 横須賀スタジアムのブルペン改修工事

(拡) ○ 追浜公園駐車場の拡張工事

○ 追浜歩道橋のリニューアルに向けた耐震補強詳細設計の実施

・ 横須賀スタジアムへのアクセス道となる「追浜歩道橋」の修繕にあわせ、まちづくりのコンセプトに合った歩道橋としてリニューアルします。

③ アーバンスポーツを活用したまちづくりの推進 30,098 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

若年層に人気があり、エンターテインメント性が高く、アメリカ発祥で横須賀のイメージにも合うBMXなどのアーバンスポーツによる地域活性化を目指し、「BMXフリースタイルジャパンカップ」の誘致を進めます。

④ 学会・スポーツ合宿等の誘致 2,069 千円 (P. 23 再掲)

【文化スポーツ観光部企画課】

学会の開催やスポーツ合宿について働きかけを行うとともに、運営を支援することで、学会・スポーツ合宿等を誘致し、宿泊、飲食、観光による経済効果や市のブランドイメージの向上と発信を図ります。

- 会場の優先予約、観光・宿泊施設の情報提供
- 国際会議等の開催に係る経費の一部を助成
- スポーツ大会や合宿の開催に係る経費の一部を助成

⑤ (拡) マリンスポーツの振興 14,563 千円

【文化スポーツ観光部企画課、観光課、スポーツ振興課】

世界最高峰の大会であるウインドサーフィンワールドカップは新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、翌年以降のワールドカップ開催に向けて、ウインドサーフィン業界が中心となった大会を開催することで、これまでに積み重ねてきた機運の維持・向上を図ります。

また、体験機会の創出やマリンスポーツのまちにふさわしい環境整備を進め、幅広い世代にマリンスポーツの普及を図ります。

- ウインドサーフィンワールドカップの開催準備
- (新) ○ 全日本ウインドサーフィンフェスティバルの開催
- (新) ○ ウインドサーフィンナショナルチーム強化練習会の誘致
- (新) ○ ウインドサーフィンジュニアアスリートの発掘・育成
- 全日本ウインドサーフィンフリースタイル大会の開催
- 大学などのウインドサーフィン部合宿の誘致
- 市民スポーツ教室におけるウインドサーフィン教室の開催
- スポーツフェスタにおけるウインドサーフィン体験の実施
- (一財) シティサポートよこすかの協力によるウインドサーフィン& SUP体験会の開催
- 地元観光協会によるマリンスポーツ体験会実施への助成
- マリンスポーツ(レジャー)の普及および民間事業者と連携したSUP体験などの実施

(4) 音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を 生かしたにぎわいづくり

① (拡) ヨコスカ街なかミュージックの推進 6,316 千円

令和2年度補正予算：4,263 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

常に音楽にあふれた、ワクワクする街を目指し、街なかをステージとした音楽ライブを実施します。

- 街なかをステージとした音楽ライブ
- ヨコスカ街なかミュージック情報の発信

(拡) ○ 新しい街なかミュージックの発信と音楽関連事業者を応援するためのオンラインライブの配信 再掲P.17

② アートによるにぎわいづくり 6,683 千円 【文化スポーツ観光部企画課】

歴史遺産の活用や夜をテーマとしたアートイベントを実施し、地域の活性化と、芸術文化にふれあう機会の充実を図ります。

- 浦賀ドックの産業遺産を活用したプロジェクションマッピング

③ 「猿島アートプロジェクト」の開催 26,575 千円 【文化スポーツ観光部企画課】

東京湾唯一の自然島・猿島を舞台としたアートプロジェクトを、民間事業者と連携して実施します。

街の明かりや音から切り離された特異な空間を生かした猿島ならではのアートプロジェクトの実施により、エンターテインメントの力でワクワクする機会を提供します。

④ 「横須賀ダンス・盛り上げプロジェクト」の推進 1,500 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

日頃ダンスに取り組む子どもたちを中心に、街なかでパフォーマンスを行うなど、ダンスの力でワクワクする機会を提供します。

- 市内各イベントでの横須賀オリジナルダンスなどのダンスパフォーマンスの実施

(5) 横須賀の海が感じられる場所での新たなにぎわいづくり

① (拡) 長井海の手公園 (ソレイユの丘) のリニューアル 603,709 千円

令和2年度補正予算：202,850 千円

【環境政策部公園建設課】

西海岸の活性化に向けた取り組みとして、長井海の手公園 (ソレイユの丘) の隣接地を活用し、官民連携 (Park-PFI 等) により地域の魅力を生かした交流拠点機能の拡充を図ります。

(令和5年(2023年)4月リニューアルオープン)

(拡) ○ インフラや造成部分の設計・建設

(拡) ○ 民間活力により整備した公園施設の購入

② (拡) 1万メートルプロムナードの活性化 59,446 千円

【経営企画部企画調整課、環境政策部公園建設課、経済部経済企画課】

1万メートルプロムナードを楽しむ人を増やすために、市民や民間事業者とともにさまざまな仕掛けづくりを行い、横須賀の象徴となる道になるよう活性化を図ります。

また、「よこすか海岸通り」(平成町)の歩道部分における安全で快適、そしてにぎわいを生み出すような整備に向けたリニューアル基本計画の策定や走水水源地の芝生広場を一般開放するための公園整備を行います。

○ 1万メートルプロムナード協議会の開催

(新) ○ 1万メートルフォトコンテストの実施

(拡) ○ 新たなにぎわいを創出するためのパフォーマンスイベントの開催

・通年を通じたパフォーマンス等の多様な文化を発表する場づくり

(年3回→年6回)

(新) ○ よこすか海岸通りの既存モニュメントをアートなどで再生するストーリーキャンパスの実施

(新) ○ よこすか海岸通りリニューアル基本計画の策定

(拡) ○ キッチンカーを集めたイベント (マルシェ) を開催 再掲 P. 17

(新) ○ 走水水源地の通年開放に向けた整備

(令和3年10月オープン予定)